



小田小だより

平成26年 1月号

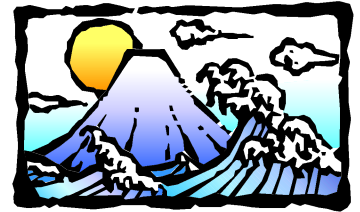
〒236-0052 横浜市金沢区富岡西1丁目69番1号 TEL 045(775)3011
<http://www-local.edu.city.yokohama.jp/sch/es/koda/> 横浜市立小田小学校

年の始めに

いちふじにたかさんなすび
～一富士二鷹三茄子の初夢に思いを寄せて～

学校長 木村 昭雄

保護者の皆様、地域の皆様、明けましておめでとうございます。
本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。



正月の初夢で縁起が良いとされているものの一番が、世界遺産にも登録された霊峰富士。二番が鷹、三番が茄子であるとされています。これは、徳川家康が駿河の国（静岡県）にいた時のこと、鷹狩りに出て目の前に富士山がそびえ立ち、畑には茄子（なす）が豊かに実っているのを見て、領地の名物として挙げたことに由来していると言われています。

これには他にもいろいろな説があります。例えば、鷹は愛鷹山のことで富士山に次ぐ山だとか、強力な足で「鷲掴みにする」からとか。茄子は、「秋茄子は嫁に食わずな」のことでわざにあるように美味しいものでたくさん実をつける（子孫繁栄）から、また、「成す」の意味もあってめでたいものだから、という説などです。いずれにしても初夢で吉凶を占うという風習で、よい夢を見たいと願った江戸庶民が宝船の絵に一富士二鷹三茄子を描いて枕の下に入れて寝たのが始まりとされています。皆様は、正月二日の夜はどんな夢をごらんになりましたか？

ところで、一昨年、京都大学の山中伸弥教授がノーベル医学・生理学賞を受賞しました。私はあの頃、山中教授が出演しているニュース番組や特集番組を機会あるごとに見ていました。

山中教授は、「治らない病気を治せるようにしたい」という夢（目標）に向かって今もなお、研究を続けています。研修医時代には手術が下手で時間がかかりすぎ、先輩から「じゃまなか」と呼ばれ、ネズミの世話に追われ、マウスのES細胞の研究を続けていた頃は「やまちゅう」と呼ばれ、研究を理解してもらえず体調を崩した時期もあったそうです。しかし、途中で諦めずに20年近く研究を続けiPS細胞の開発に成功し、やっと人の役に立てるかもしれないと思ったと言います。

「治らない病気を治したい」という夢に一步近づいた山中教授は、「まだこの技術は完成していない。一人の患者さんの命も救っていない」というのが口癖で、早く本当の社会貢献、医学応用を実現させたいと今も研究を続けています。

小田小学校の子どもたちもきっと素敵な初夢を見たことでしょう。見る夢と合わせ、新しい年を迎え、叶えたい夢（目標・めあて）も決めたのではないのでしょうか。昨年、夢が達成できた子も残念ながら達成できなかった子も、今年こそは、と子どもたちみんなが思っていることでしょう。ご家庭でもその夢について話題にさせていただき、どのような夢であっても子どもたちの意欲を大切に、継続して努力できるように励まし応援してほしいと思っています。

夢を追い続けている山中教授は、「何が良いのか悪いのかすぐには分からない。一喜一憂せず淡々とがんばるしかない。研究や人生もマラソンと同じで、勝てなくとも最後まで走り抜かなくてはならない」と語っていたのが印象的でした。

「夢は見るものではなく、叶えるもの」とは、サッカー「なでしこJAPAN」の澤穂希選手さわほまれの言葉だったのでしょうか。夢はそれを叶えようと努力するところに価値があります。夢や目標に向かってがんばっていくその積み重ねが、子どもたちの『生きる力』となっていきます。

「学校は夢を形にする所だ！」の志をもって、小田小学校教職員一同、日本の未来を担う子どもたちの健やかな成長のためにがんばってまいります。

保護者の皆様、地域の皆様、昨年同様、本校の教育活動へのご理解とご協力を願い申し上げます。